

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 さんすまいる新宮キッズ

公表日 R8年 2月 1日

利用児童数 令和7年 12月 26日 26名

回収数 20枚

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	6	1	2	・もう少し広いと良さそうな気がします。 ・少し狭いと感じます。	・活動内容や人数に応じたスペースの使い分けや、レイアウトの見直しを行い、子どもが安全かつのびのびと活動できる環境づくりに努めてまいります。今後も状況を確認しながら、必要に応じて改善を検討していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1	1	4	・いつもしっかりと見ていただいてありがとうございます。 ・毎回、実際に担当された人数を聞いていない。	・職員の支援について安心していただけている一方で、配置人数が分かりにくいとのご意見を踏まえ、今後はその日の利用人数と職員配置が分かるよう、情報提供の方法を工夫してまいります。引き続き、一人ひとりに目が行き届く支援体制の維持に努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17			3	・写真や絵、文字など見て分かりやすい。 ・部屋も怪我をしない様、工夫されている。	・写真・絵・文字などの視覚的支援については、こどもの発達段階や障害特性に応じて内容や表現方法を見直し、より分かりやすい表示となるよう工夫します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17			3		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20				・指導していただき、ありがとうございます。	・今後は、実際の支援内容と公表している支援プログラムとのつながりが、より分かりやすく伝わるよう、説明方法の工夫やプログラムの確認・見直しを行ってまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20				・色んな事を考えていただき、本人に合った計画をありがとうございます。	・引き続き、面談や日々の連絡を通してご意見・ご要望を伺い、計画の質の向上につなげてまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	2	11	・知りません。 ・特になくても良いと思います。	・こどもの特性や安心して過ごせる環境を重視し、現時点では地域の他のこどもとの交流は実施しておりません。 今後は、必要性や保護者の意向を踏まえ、実施の可否について検討してまいります。
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	5	2	6	・研修会などは行われてないが、個人的に情報提供などは行われている。	・これまでは個別の情報提供を中心に行っていましたが、今後は保護者のニーズを把握しながら、家族支援プログラムや研修会等の実施についても検討していきます。また、引き続き個別相談や情報提供の充実にも努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20				・帰りの送迎時や連絡帳などで分かりやすい。	・今後も丁寧に継続的な情報共有に努め、保護者との共通理解をより深めていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1			・面談など話せる機会があり、ゆっくり話せて安心できます。	・引き続き、面談や子育てなどに関する相談や助言を丁寧に行い、保護者の不安や思いに寄り添った支援を継続していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20					

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	4	2	8	・一度親子プログラムがあり、参加できて良かったですが、なかなか開催されないのが難しいのかなと思っています。・できる時に開催したら良いと思います。	・親子プログラムや保護者同士・きょうだい同士の交流の機会は、参加された方から好評であるため、無理のない範囲で不定期開催を検討します。 ・開催が難しい場合も、個別の声かけや少数での交流の機会など、代替となる形での支援を工夫します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18			1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	1		4	・毎月の予定や時間、献立表などがあり、分かりやすく安心します（子供も）。	・引き続き、毎月の予定表や活動内容、献立表等を定期的に配布・掲示し、こどもや保護者が見通しを持って安心して利用できるような情報発信を行います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18			1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16			3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			2	・事故がないので分からない。	・事故等は発生していませんが、万一の際には速やかに保護者へ連絡し、状況や対応について分かりやすく説明できる体制を整えています。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19				・安心している。	・こどもが安心して通所できていることを大切にし、引き続き職員との信頼関係づくりや、落ち着いて過ごせる環境づくりを継続していきます。また、日々の様子を保護者と共有し、安心感の維持・向上に努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19				・とても楽しみにしています。「今日は、さすまいる」と笑顔で言っています。	・こどもが通所を楽しみにし、笑顔で気持ちを表現していることを大切に受け止め、安心して楽しく過ごせる環境づくりを今後も継続します。 また、「楽しみ」という気持ちがさらに広がるよう、こどもの興味や達成感を大切に活動内容の充実に努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				・とても満足しています。	・ご満足いただけている点を職員間で共有し、今後も一人ひとりに寄り添った支援を継続します。あわせて、定期的にご意見を伺い、より質の高い支援につなげていきます。